



住民投票条例案 否決される

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com

<https://www.facebook.com/106569234530018/>

No.13 2020年11月17日発行

【住民投票条例案、否決される】

11月13日の町議会において、私たちの提出した住民投票条例案が審議されました。結果は、賛成が越前谷由樹議員、川地正人議員、幸坂順子議員、沢村國昭議員の4人、反対が石澤洋二議員、木村親志議員、木村眞男議員、友山大信議員の4人と同数になり、最終的に、小西正尚議長の裁決により否決となりました。

沢村議員が賛成意見として、「いま、文献調査のことで家族の中でも意見の対立が出ている。店の不買なども出ている。住民投票条例は、憲法や地方自治法で認められている正当な権利である。提案者である町長が反対意見を付けるとはどういうことか。議会に制定を求められているのに、これを否決することはできない」と述べてくださったことは非常に心強かったです。しかし、腕を組んだままで、聞いているのか聞いていないのか分からない議員もいて、がっかりしました。結局、有効署名217人の思いが詰まった条例案の議論はあっけなく終了しました。活発な議論が行われると思っていただけに、残念です。傍聴に訪れていた近隣町の議員が「ひどい議会運営にあきれた。おなじ議員として申し訳なく思った」と洩らすほどでした。

議会では、条例案の請求者となった三木信香共同代表が意見陳述を行いました。住民投票条例を求めると決めたときに、ほかの共同代表よりも身動きが取りやすいというだけの理由で、私たちが請求人として担ぎ出してしまった三木共同代表でしたが、立派に務めを果たしました。会員一同、三木さんに感謝しています。

【今後の方針】

今月中にも文献調査が始まってしまう情勢です。しかし、核のゴミはぜったいに受け入れたくありません。私たちはあきらめません。文献調査撤回に向けて、やれることを徹底的にやっていきます。本庄敬さんの風太と風麟（ふ〜りん）が私たちには付いています。たくさんのカンパをお寄せいただいた皆様に感謝を込めて、けっしてあきらめない行動を誓います。

全国の皆さんへ。核のゴミ問題は、寿都や神恵内だけの話だと思っているのは危険です。独裁的な首長が現れると、このようなことは起こり得るのです。地元の議会運営に無関心でいるのもよくありません。私たちの町に住民投票の条例も規程もないことを、私たちの会のメンバーの大半は気付いていませんでした。

核のゴミ問題は、突然、あなたの身近に降ってくる可能性があるのです。どうか関心を持ってください。

【三木共同代表から感謝】

人生初の意見陳述終わりました…。

残念ながら5対4で否決となりました。奇跡が起きる事を願っていましたが、奇跡は起きませんでした。

3か月間の出来事を私なりに書いてお守りの風太くんのファイルに入れて役場へ向かいました。会のみんなが居てくれて心強かったです。

精一杯、会と私の思いは伝えたつもりです。

今は色々な気持ちが行ったり来たりしています。

一回、大きな大きな深呼吸。

応援して下さいました皆さん、ありがとうございました。

＜三木共同代表が意見陳述に用意した原稿です＞

①
「寿都町における特定放射性廃棄物最終処分地建設地
選定に関する文献調査への応募に関する住民投票条例」の
可決をお願いします。」

・私の父は寿都出身です。札幌で美容師をしていた時から
「寿都で美容室をやりたい。寿都の人達をTVに出演させるのが夢だ」と話していました。
いざ寿都に行くつもりでいた。2011年に夫の父がなくなり
実家の木造加工業を手伝うため、私達は2012年に寿都に来ました。
そして2016年に「父の願ひの半分運の美容室を開業する事が出来ました。」
寿都に来ると、娘は2人で不安げありませんでした。
実際に来てみると、この温かさと美味しい食べ物、そして綺麗な自然環境。
に驚かされ、今では親子で寿都が大好きになりました。
こんな寿都に一生住み続けたい。出来れば娘に美容室を一緒に
営みたい。そう思っていました。

そして
今年の8月13日に思いがけずニュースを見ました。
「寿都町が「高レベル放射性廃棄物処分場」の文献調査に
名乗り出るという事でした。核のゴミを受け入れる事など
許される事ではなく、文献調査と言ってもその可能性を
開く事は間違いないのです。」

その後、私はすでに風評被害を受けていた。寿都木造加工組合青年部の
人達と「寿都に核のゴミはいらない町民の会」を結成し
反対の署名を集めました。その後、ママ友や地域の人達も加わり
「僕たちに核のゴミのない寿都を、町民の会」を結成し、共同代表と
なりました。

町主催の9月7日が開かれた各地区の説明会に私達も参加して
質問をしました。片岡町長の「応募ありきの回答に驚かされたが
「町民の51%が反対なら応募しない」という言葉を聞きました。

しかし文献調査への応募が決定的だと知り、
10月7日私達は「寿都町における特定放射性廃棄物最終処分地
建設地選定に関する文献調査への応募に関する住民投票条例」の
制定を請求する署名を、寿都町選挙管理委員会に提出しました。

【町の声】

今回の否決を受けて、町民や元町民、周辺町村の方々がどう感じているのか、声を拾い集めてみました。感情的な発言も多いですが、でも、それが私たちの町の現実です。


- ①「本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。感謝感謝です。分かっていたとはいえ、やはり期待していたから、本当に心から残念です。次はどうしたらいいものか。ギャフンと言わせたい」
- ②「お疲れ様でした。絶対明るい未来が待ってるはずですよ。また、明日から前に進んで行こう！」
- ③「お疲れ様。結果はやっぱり…な残念すぎる結果だったけど、すごく頑張ったと思う。失望感あると思うけど、ちょっとゆっくりして、近々またごはんでもやりましょう」
- ④「否決という連絡をラインで受けて、その字が涙で滲みました。悔しい！ 悲しい！ むかつく！ いちばん平和的に手っ取り早く一人ひとりの思いが分かって、結論を出せる住民投票をやらずに、よく『分断させたくない』とか言ったもんだ」
- ⑤「信香さんの意見陳述がとても良かったと母が言っています。でも、賛成した議員たちは無表情でただ座っていたんでしょうね…」
- ⑥「お疲れ様です。残念な結果すぎて声も出ないです。でも、まだノーサイドではありません」
- ⑦「背水の陣で、敵は臨んでいます。こちらは怖いものなし。開き直って、なんでもありです。議員ひとり変えれば、経産省やNUMOとの打ち合わせの旅費を付けないこともできます。関連議案、洋上風力関連議案も修正させて、執行できなくなります。これからですね。第一ラウンドが終わって、第二ラウンド。深呼吸して、次の作戦を練りましょう」
- ⑧「住民投票条例すら作ろうとしない議会にあきれました。文献調査後に起こる問題については、すべて、条例反対の町長や議員、町役場が負うわけです」
- ⑨「情報公開も非開示。住民投票も反対の議員が多い。寿都は闇だな」
- ⑩「これから寿都町では決断を求められたら『肌感覚では…』で結論を導くことが出来るぞ。学校でも答案に『肌感覚では』が乱発される。ホントに愚かな議会運営だよ。情報非公開にも疑問を持たない愚かな議会。お布施の足りない分を議員報酬で賄う議員。なんだこれは」
- ⑪「どこの国の結論なんだ。時代の逆行…。あさはかな推進派議員は全員クビだ」
- ⑫「お疲れさまでした。長期戦必至ですけど、すこし休憩して、またがんばりましょう」
- ⑬「寿都だけの問題でないのに、こんな決め方されて、近隣町村も黙ってる？ 町民に選んでもらった議員は、町民の意見は無視。町長の肌感覚が正しいと信じる町長のための議員ばかり。町長が死ねと言えど死ぬのか？ 『町民に伺いを立てたらかえって面倒になる』なんて、寿都の良さをいちばんわかってない人を町長にしてしまった。これじゃ、寿都町じゃなく片岡町だ」
- ⑭「残念な結果です。とくに漁協関係の者はなにを考えているのか。腹が立ちます」
- ⑮「なんとも悔しい結果です。議員は金を掴まされているのか？ 無念。この悔しさをどこにぶつける？ 悔し憎しだよ」
- ⑯「4対4で議長の判断…。なにを考えているのでしょうか。残念です。次の手はどうしますか？」
- ⑰「議員報告会や町政懇談会の開催を求めるべきだと思います。とくに、今回、否決した議員に対して、直接、見解を伺いたい。その会に参加しないようなら、議員の資格はないと思います」

- ⑱「コロナを理由に、町内会館での説明会を公開しなかったが、ウィズコムでは公開させることができた。公開の議員懇談会の実施を求める。今回の臨時議会をテーマに討議させて、住民からの質問も受け付けるべきである」
- ⑳「とてもあっさりとは拒否されましたね。予想はしていましたが、残念です。意外だったのが、いちばん風評被害を受ける漁師議員がイエスマンだったこと。なあんも考えてないんだよね。『次は70億貰っちゃえばいいか』ってことでしょ」
- ㉑「議員たち…特に小西さんには心の底からガッカリです」
- ㉒「残念です」
- ㉓「まさかの拒否。町民の声になぜ耳を傾けようとしないのか。毒されているとしか言いようないですね」
- ㉔「残念です。賛成する人を嫌いになりたくないのに嫌いになってしまいます。私はまだ知り合いが少ないからいいけど、賛成する人の家族や生活も見える方たちはお辛いでしょう。幌延のニュースとか見てない訳じゃないのに。核の事で国を信じるってすごく幸せな人たちですね」
- ㉕「次は町長選ですね。役場内に明智光秀はいないのか？」
- ㉖「落ち込んでばかりもいられません。できることをします」
- ㉗「半分は諦めていたとはいえ、議会の決定にはがっかりし、同時に腹が立ちました。核のゴミ受け入れに賛成の議員は、目先のことしか考えず、町長が甘い言葉で勧誘されてしまったことを鵜呑みにして、大事なことを決めてしまったのでしょうか。途中で引き返せると思っているということは、事の重大さを認識していないように見えます。政府に対し、住民投票もないままに町長の一存で決めてしまったことを、しつこいほどに訴えたらいいと思います。これを政府が容認したら、独裁を許すことです」
- ㉘「議会は難しかったですね。これからも町民の会を応援します」
- ㉙「議会の内容も秘密。理由も言わずに住民投票反対ってなんででしょう…」

【請願も却下】

11月13日の町議会においては、直接請求した住民投票条例案のほかに、住民投票を求める請願も審議されました。それもあっさりとは却下され、14日に通知文書が事務局に届きました。理由も書かずに、「不採択と決定したので通知します」と書かれているだけでした。



寿 議 号 令和2年11月13日
子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 代表 吉野寿彦様
寿都町議会議長 小西正尚 
請願の審議結果について (通知) 令和2年10月7日提出された下記の請願は、不採択と決定したので通知します。
記
1 件 名 寿都町における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に関する 文献調査への応募に関する住民投票条例制定に関わる請願